

発行所
医療法人財団五省会西能病院
〒930 富山市五福1130
TEL (0764) 41-2481(代)
発行人 西能 正一郎

五省会ニュース

国民皆保険がない基本的な相違

西能理事長 米國などの医療現状を視察

西能理事長は十月三十日から十一月十二日までの十四日間、米國、カナダの医療現状を見聞して来た。これはメディアーク経営研究所(大阪・須磨忠昭所長)が企画した「米國・カナダに於ける医療・福祉・長期ケア視察旅行」の調査団に参加したものである。視察先はニューヨーク、ワシントンD.C.、シカゴ、レイクビューズ、バンクーバー、サンフランシスコの医療やホームケアなどの関係機関。そこで、総括的な印象について聞いてみた。



サンフランシスコの日系一世老人施設「気持会ホーム」前の西能理事長

しのぎを削ってパイの奪い合い

多い利益目的の医療施設

わが国の医療費の高騰が、資格がないように見え思われる昨今であります。今や将来に向けての社会問題になりつつあります。私ども、日本の医療の動向には無関心ではありませんが、然し、ほんとうに米國の医療が日本の医療の将来を示唆するものであるのか疑いを持っています。日本には日本独自の医療供給体制が、行政をはじめ医療問題の研究から、米國の医療制度と異なる見聞をしております。

米國は人類のつとめと営利、非営利と画然と分けられており、多種多様な人間が生きています。都市によつては、白人がわずかに三分の一しかいない所さえあります。その上、國民の所得格差が大きく、自分でもどれだけの収入があるかわからない資産家もあれば、自分の生活はおろか、病気に悩んでも医療を受けることが出来ない貧困者が街にうようよしています。日本の國勢調査のようなことはとても考えられない国柄であります。

あすなろ

小春びよりという語がある。漢然と、晩秋ころに春のように暖かいひよりの一日と思つて、人が意外に多い。しかし、厳密には小春は旧暦の十月の別称。小(こ)六月といえは今の十一月から十二月。従つて俳句の季節では冬だ。今年十一月九日から十二月八日までが旧暦十月の小春である。だから北陸ではめつたに小春びよりにはお目にかかれぬ。貴重なおひよりに初冬にばらばらと走る雨を時雨(しぐれ)という。この時雨の方は北陸おなじみの空模様だ。時にあられや雪もまじる。

日本病院会の庶務人事・労務合同研究会

日本病院会の全国庶務人事・労務合同研究会が十月二十七、二十八の両日、秋田県総合保健センターで開催。週休二日制・時短、看護体制などをテーマに、やく百八十人の参加者が熱心に討議した。西能病院の光里事務部長がパネルディスカッション「週休二日制のすすめ方」で「あなたの病院で三百六十五日の平日診療は可能か?」と題して特別発言を行ない、西能病院が四月からスタートした外来休日診療の実態を説明した。以下はその要旨である。

職員の理解と協力

「休日診療」で光里部長が特別発言



特別発言の光里部長(右から二人目)
休日診療を始めればあとにひけない。最初に開口を大きく拡げて尻すぼみではマイナスになるとの考えで条件を設定した。
◇休日診療の実施状況
四月から現在までの患者の来院状況は日により、時間により異なるが、最近では平均百二十人程度(平日の三分の一)で落ちついている。四月から九月までの六ヶ月間の実績をみると、新患の外来患者は休日が26%で平日の13/14%に比べて倍増している。外来患者総数では前年比の13%増であり、再来患者数も伸びている。休日外来患者は時間帯として午前中68%、午後32%で、四時すぎから混むといった状況である。

医療サービスの立場から

西能 正一郎

一九八八年も残りわずかになりました。今年を振り返って見ると、色々なことがあった年でした。こんなことがあったと忘れても良いようなこともありましたが、将来に長く尾を引く事柄もあるわけですから、こちらの方は、これから始まるということから色々考えて対応しなければならぬ事柄です。
一昨年の暮、医療法の改正がありまして、その改正の主目的は、地域医療計画の策定であります。医療未開発で國民が医療を受けるに事欠くという状態での地域医療計画ならば、國民の健康保持のためにぜひ必要な政策でありましょう。が今回の改正の目指すものは、それとは全く逆の発想でありまして、地域に必要な病床数を決めてそれ以上病院を大きくさせない。むしろ、少しずつ減らそうという考え方に立ったものであります。(すでに全国各都道府県ではこの方針に従って作業が進んでいる所が多いのです。富山県はおくれればせながら、来年三月を目途に会

協力して無駄のない工夫を

国民医療費の歯止め 病床数の枠は逆の発想

さらに昨年の六月には、国民医療費総合対策本部で報告案というものが厚生省から出されました。これは、地域における病床数を減らすだけで追いつかないと考へた厚生省が、医療費の無駄をはぶくために具体的な方法を行なうとして、作られたものであります。この案に従って今年には色々私共も無駄のない様に工夫しながら、皆様の健康を維持す

るように診療をすすめて来ましたが、昭和三十六年といえ、私が開業した前年です。この年から、国民皆保険が行なわれました。そして、昭和四十八年から、老人保険の無料化が始まったのであります。私共医療をサービスする立場のものも、患者さん達にも、この制度が完全に定着してしまつて、日頃の病気を治すことに、特別経済的なことを考へなくて済む時代が長い間続いてきました。それで、もうすでにあたりまえのこととして受け止められているくらいが、いいわけでは無いと反省させられます。

国民の生存権は、憲法で守られております。

国民の生存権は、憲法で守られております。これも病気がなつたら、その治療の受け方、治療の仕方に、私共も皆様が工夫してゆかねばならないということでもあります。自分の健康を守るのとは自分であるという基本的な考え方に立って、病院と協力しながら成果を上げる認識が必要であります。皆様がこのあたりを良く理解されまして、上手に病院を利用していただきますよう、お互いに努力してゆきたいものです。

この冬初めての時雨が初時雨。降る時間によって朝時雨、夕時雨、小夜(さよ)時雨などに分ける。▼時雨心地とか、涙の時雨とかいふ言葉もある。日本人は空模様など自然の変化を描くことでその時の心境、心理を表現する。三島由紀夫は「文章読本」の中で「風景描写に於いては日本の作家は世界に卓絶した名手」といつて

休日診療への取り組み

休日診療への取り組み、診察時間、スタッフの人数をどう設定するか、利用者数をどれだけ見込むか、休日診療と四週六休を同時にスタートした場合は、現在の人員でできるのか、休日出勤者の処遇はどうするかなど、数多くの問題がでてきた。各部署ごとに検討に検討を重ねた。基本的には一旦

休日診療の目的
休日の外来が混雑し、家族の送迎で来院される高齢の患者が増えてきた。夜は七時まで外来を受け付け二十四時間救急体制をとっているが、それでもまだ不自由をおかけしているという思いがある。

休日診療を実施できる体制

休日診療を実施できる体制が、医療の原点に戻つて、いつでも診療できる体制がとれないかと考へた。

休日診療の取り組み
院長の患者サービス充実への強い意志、職員の理解と協力、二十四時間救急体制が休日診療を進展、充実させた。診療科目が整形外科、内科の二科目で少ないこと、医師のローテーションの協力を得られたなどが実施できた大きな要因である。

県教育功労者

家庭婦人バレーボールの普及に —山本看護部長が受賞—



表彰状を見せる山本部長
—看護部長室で

楽しみながら健康づくりを

県教育委員会の本年度県教育功労者(四十一人、十七団体、二組)の表彰式は十一月二日、県庁で行われた。体育スポーツ関係で、県家庭婦人バレーボール連盟会長の山本玲子さん(看護部長)が「家庭婦人バレーボールの普及と発展に寄与された」の表彰状と記念品(銀盃)をうけた。つぎは受賞のことば。

二十年前は県下婦人バレーボールのチーム数は二十チームあまりでした。現在の登録チームは百四十チームとなりました。この間、婦人の力不足に悩まされ、仲間づくりに努力してまいりました。

健康法の問題

矢野 三郎 (47)

汚れるたびに清める 日本人の病気観 深く根ざす伝統、文化

世界的な健康ブームの中にあつて、日本人の健康法はかなりユニークなものらしい。その理由の一つとして、欧米人の病気観と日本人の病気観の相違があげられている。現代医学の立場では病気は世界共通で、米國も日本も考え方に大きな違いはない。しかし、一般の日本人が病気にどうの対して、どういう考えを持っているかという文化人類学的な視点に立つと、日本人の病気観は、日本の伝統、日本の文化に深く根ざして、欧米とかなり違うのである。

文化人類学者、大貫美幸子さんの「日本人の病気観」(岩波書店)によると、日本人には内は清浄、外は汚濁という象徴的図式があるという。家に入ると、靴を脱ぐ、手を洗うという日本人の衛生上の習慣はこの日本人の病気観にもとづいて育つた。この考えには外には汚濁が存在することと認めている面があり、欧米におけるように外なる

経営戦略に感想文

光里 昭和三十二年三月に院長(現理事長)が発表された経営戦略を全部の職員が読んで感想文を院長に提出した。それから、ずっと現在も続いており、入ってきた新人に同じことをやってもらっています。

私の部屋で 五人ずつ

西能 ハイ、そうなんです。タイプで打ち、五部をコピーしました。そして、午前十後に分けて五人ずつ私の部屋にきて、一時間読んで、原稿用紙をくまなく時間をきめて感想文を書いてもらっています。

出 席 者

- △元勤務者 田面谷秀雄、子松倉信治
- △現勤務者 江尻栄子、木下文雄、古井良洋、西川信子、三ツ松原男、各川(チーム)安川敏一(同)
- △司会 光里専蔵(理事)
- △司会 光里専蔵(理事)

ねんりん

すぐ書けない人もいたのは、
「こんなひどい...」

職員の内情

古沢 当時の四階ホールで仕切って書きまわした。大変きびしかった。内容は、病院が生き残るために職員は自分たちで何をしなければならないか、という内容です。

今も心掛けている

吉村 ごもつとだとかつぎ上げるというのが印象深く残っており、読んでみると、意志が強くなったように思いました。

薬局日記

淡谷真紀子 薬剤師

病床日記

新谷はる枝 (五六) 岐阜県吉城郡宮川村

朝礼で緊張感と連帯感

飯島美津子 西能病院、特二病棟看護婦長

わたくしはこう思う

西能 先生に、これまで話を聞かされたこと、入会された方もあります。

スタッフの教育

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

はじめに

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

最初の段階で教え込む

西能 私どもは、そのうち、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、

わたしはこう思う

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

スタッフの教育

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

はじめに

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

最初の段階で教え込む

西能 私どもは、そのうち、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、

わたしはこう思う

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

スタッフの教育

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

最初の段階で教え込む

西能 私どもは、そのうち、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、

わたしはこう思う

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

スタッフの教育

西能 先生は話上手で、大谷先生のお手紙を、先生が読んでくださるのを見て、先生は人間的に、

最初の段階で教え込む

西能 私どもは、そのうち、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、先生のお話を聞いて、

新しい息吹きを

わかりやすく調剤説明

親しみやすい薬局に

薬局は院内では患者 きな病院では番号順に窓さんととの接触の少ない 口に薬がならべられ薬剤部署の一つである。大 師と患者さんとは一言も

薬剤部



正確な調剤に取り組み薬剤部

口をきかな い場合が多 い。 当院では 近年年配の 患者さんも 数多い事か ら正確な調 剤業務はも ちろんだが 薬はのみや すく、わか りやすく説 明する事を 心がけてい る。これに は調剤用自 動分包機が 大きな役割 を

を しめてい る。この分 包機が装 備されては や 六年にな るが、その間 多くの入院 及び外来へ 分包装を 行ない大変 わ かりやす く、のみや すいとの事 で好評を得 ている。 患者さんと 少しでも 接触をもち、 わからな い所は気 楽に質問で きる様に、窓 口では一 人一人名前 をよび服用 方法を説明 しながら手 渡している。 時間もか かるが、こ ういう小 さな積み重 ねが薬局と 患者さんと を結びつけ 患者さんに 感謝され又 信用ある良 い病院であ ると高く評 価をうけれ ば幸いと思 っている。 今年四月、 薬局に 薬剤師が二 人入って 来た。若さ あふれる二 人のお蔭で 活気がでて きた。多忙 な毎日の業 務の中で、 患者さんと の接触を求 め、また心 の接点を求 めて一同頑 張っている。(杉村洋)

病院だより

十月

一日ニッサングリー
ンカップ草野球大会(新
港の森野球場)に救護班。

職員消防訓練

一日「午後一時半、
三階談話室から出火」の
想定で、職員の消防訓練。
消火活動や避難訓練のあ
と、携帯消火器操作の実
習。(写真右下)



八日「氷見市教育文化
センターで開かれた氷見
市民大学講座で、西能理
事長が「生きがい」と題
して講演。
九日「チビツ子マラソ
ン大会(太閤山ランド)

ご苦労さんでした 余力一杯の気持ち

定年の江尻栄子婦長

看護部外来婦長の江尻栄子さんが十月三十一日付で定年退職した。西能病院に勤めたのが五十二年一月六日から。勤続年月は五十二年十月。五十二年九月に県知事表彰を受賞した。励ます会は十月二十五日に県知事表彰を授賞した。西能院長ら六十八人が出席して開いた。江尻さんは嘱託として引き続き勤務。つぎは「定年を迎えて」の感想である。



励ます会席上の江尻さん

「だれにも勝る健康と
すばらしい仕事にめぐま
れ、今日あることを、こ
の上ない幸福ものと深く
感謝しております。
日赤養成所を卒業し、
戦中、戦後と、青春から
五十八才に至るまで、看
護婦になって四十二年間

陸大会(牛岳スキー場)
に救護班。
十六日「十七日職員
の慰安旅行。群馬県伊香
保温泉へ。(第一班)
十七日「十二月十日
岐阜リハビリテーション
学院生の松波寿江さんが
リハビリテーションで理
学療法の実習。
十八日「入院患者さん
九十四人が五階ホールで
県知事選の不在者投票。

吉野部長

シンポジストを

二十三日「高岡文化ホ
ール・大ホールで開かれ
た「高齢化社会における
ボランティア活動」のシ
ンポジウム(県社会福祉
協議会主催)で、吉野呼
吸循環器部長がシンポジ
ストをつとめた。
二十三日「KNBママさ
んバレーボール大会(県総
合体育センター)に救護班。
二十三日「二十四日
職員の慰安旅行。群馬県
伊香保温泉へ。(第二班)

理事長が広島で講演

二十八日「広島厚生年

十一月

西能院長が講演

二日「県看護研修セン
ターで開かれた訪問看護
職(潜在看護婦)の講習
会で西能院長が「地域
医療と訪問看護」病院の
立場から」と題して講演。
八日「五階小会議室で
誕生会。十四人。
九日「十日」互助会のポ
ーリング大会。立山グラ
ンドホール。
十一日「十七日」民生
児童委員の東南アジア社
会福祉研修に救護班。
十五日「西能理事
長が五階ホールで「米國
カナダの医療視察」報告
会。週三回、計六回。
十八日「二十四日」民

山本部長が 熊本で講義

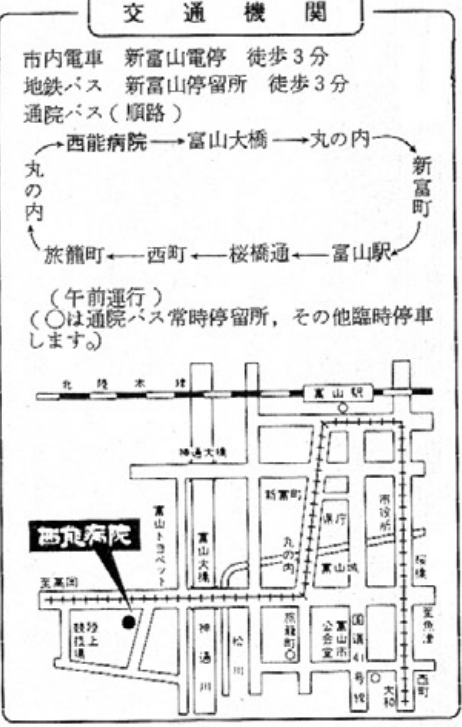
二十日「二十四日」熊
本市水前寺、自由ヶ丘病
院の「看護婦のモラルと
看護管理」研修会に山本
看護部長が講師として。
二十四日「互助会のピ
チバレーボール大会。
五福小学校体育館で。
二十六日「富山スケー
トセンターの県民スポー
ツ大学校「スケート」に
救護班。

十二月

十三日「五階小会議室
で誕生会。七人。
十七日「恒例の演芸を
競う忘年会を富山第一ホ
テルで。
二十四日「五階ホール
で健康教室。

休日返上の診療体制

| 休日 | 曜日 | 午前 | 午後 |
|---------------------------|-------|---------------------------|--|
| 整形外科科 リハビリテーション科 内科 | 日祝祭日 | 8 : 30 ~ 12 : 00 | 13 : 30 ~ 17 : 00 |
| 整形外科 | 月 ~ 土 | 8 : 30 ~ 12 : 00 | 16 : 00 ~ 19 : 00 |
| リハビリテーション科 | 月 ~ 土 | 8 : 30 ~ 12 : 00 | 13 : 30 ~ 19 : 00 |
| 内科 | 月 ~ 土 | 8 : 30 ~ 12 : 00 | 15 : 00 ~ 17 : 00 (火・金曜日は15 : 00 ~ 19 : 00) |
| スポーツ医学 | 火曜日 | ※スポーツ障害の治療やスポーツ相談 | |
| 神経内科外来 | 木曜日 | | |
| 呼吸循環器科外来 | 金曜日 | ※心臓病疾患、腎臓疾患でお困りの方はご利用下さい。 | |
| 泌尿器科外来 | 水曜日 | | |
| 形成外科 | 月1回 | 8 : 30 ~ 12 : 00 | ※診療日は受付でおたずねください |
| 在宅診療 | 金曜日 | ※(在宅酸素療法を含む) | |



整形外科科
リハビリテーション科
内科

365日 年中無休 です



もし、救急車が必要で
たら、連絡して下さい。
お迎えに上ります。
常時2台待機しています。